

名取市地域公共交通計画 令和5年度 主な施策の取組状況について

令和6年度 名取市地域公共交通活性化推進協議会

主な施策の実施状況

施策1 なとりん号の再編

①【乗合バス「なとりん号」の路線見直し】令和5年10月より実証運行開始(令和6年4月より本格運行)

再編前		再編後		
路線名	便数	路線名	便数	特徴
幹線路線	まちなか循環線 平日:上下計18本 休日:上下計12本	まちなか循環線	平日:上下計22本 休日:上下計20本	遅れが発生しないようルートの小回りに変更
	愛島線 平日:上下計43本 休日:上下計18本	愛島線	平日:上下計46本 休日:上下計18本	ルートの一部変更、時間帯によるルート変動により、愛島台から「館腰駅」への通勤・通学に対応する便を運行。(朝1便、夕:2便)
	愛の杜線 平日:上下計26本 休日:上下計13本	愛の杜循環線	平日:上下計46本 休日:上下計26本	2路線を1路線に統合し、環状路線に変更。時間帯によるルート変動。
	県立がんセンタ一線 平日:上下計24本 休日:上下計11本			
	高館線 平日:上下計22本 休日:上下計12本	高館線	平日:上下計24本 休日:上下計12本	2路線を1路線に統合、ルートの一部を変更。
生活路線	閑上線 平日:上下計24本 休日:上下計16本	閑上線	平日:上下計24本 休日:上下計18本	遅れが発生しないようにルートの一部を変更。時間帯によるルート変動。
	東部閑上循環線 平日:上下計10本 休日:上下計4本			
	相互台線 平日:上下計14本 休日:上下計8本	相互台線	平日:上下計4本 休日:上下計0本	車両をワゴン車からバス車両に変更した。利用率の低い便を減便し、日中時間帯は主にデマンド交通でカバー。
	北目上原線 平日:上下計7本 休日:上下計3本	デマンド交通	平日:6台 休日:4台 9時~16時運行	生活路線は廃止し、利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の交通へ変更。(詳細は4ページ参照)
	館腰植松線 平日:上下計8本 休日:上下計4本			
	下増田線 平日:上下計4本 休日:上下計4本			
生活路線	美田園下余田線 平日:上下計2本 休日:上下計2本	デマンド交通	平日:6台 休日:4台 9時~16時運行	生活路線は廃止し、利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の交通へ変更。(詳細は4ページ参照)

なとりん号



【運行車両】

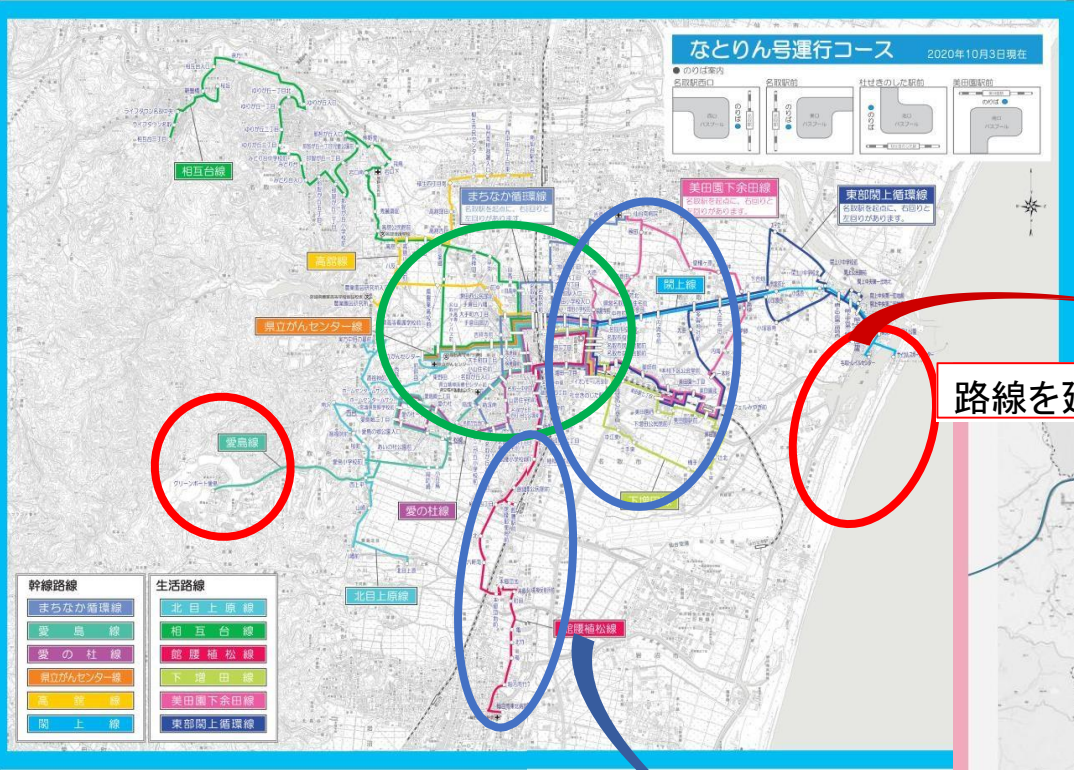
- 車 両 中型車
- 定 員 60人(座席24人、立席36人)
- 台 数 15台(予備車両1台含む)
- その他 車イス利用にも対応したノンステップバス

主な施策の実施状況

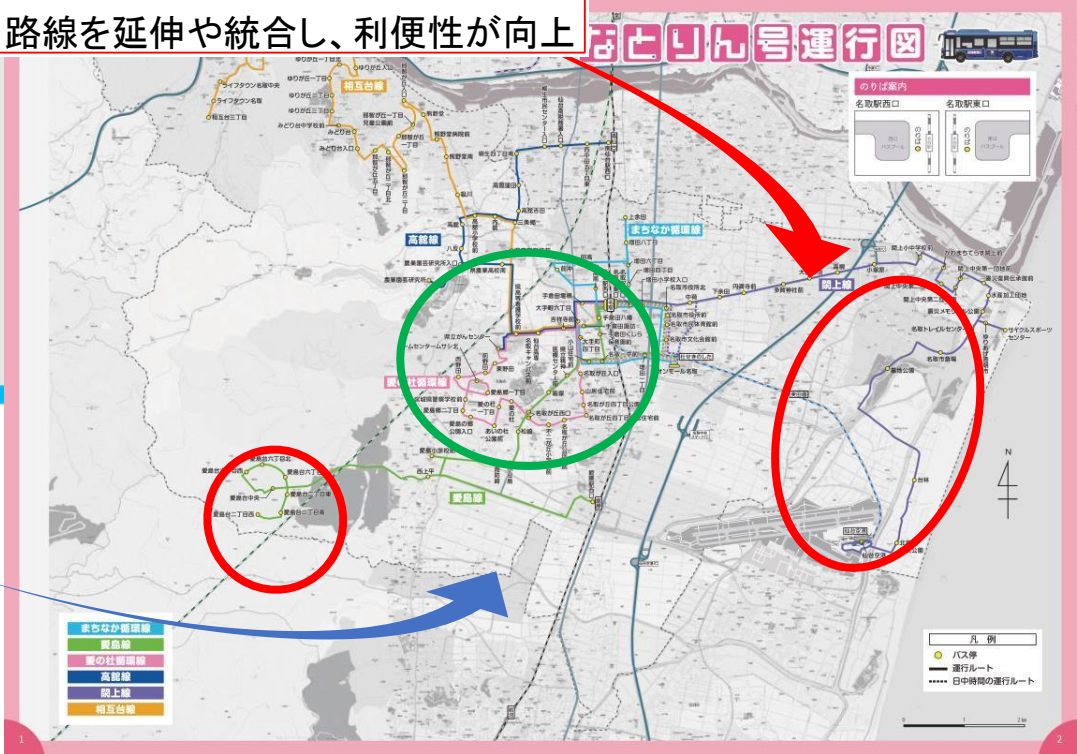
施策1 なとりん号の再編

①【乗合バス「なとりん号」の路線見直し】

- **幹線路線**の一部延長や統合により利便性を向上させ、効率的な路線網に再編
- 愛島線・愛の杜循環線・閑上線では日中時間帯に**イオンモール名取**や**名取市役所**を**経由**
- **生活路線**は利用の多い便のみ残し、日中時間帯はデマンド交通でカバーするように再編



路線を延伸や統合し、利便性が向上



生活路線は利用の多い便のみ残し、新たにデマンド交通を導入

主な施策の実施状況

施策1 なとりん号の再編



①【乗合バス「なとりん号」の路線見直し】

■なとりん号 運賃収入実績

(単位:円)

	現金収入			キャッシュレス収入			回数券収入			定期券収入			合計		
	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)
10月	2,099,866	2,999,200	142.83		107,050		1,280,769	1,799,190	140.48	5,745,080	8,974,480	156.21	9,125,714	13,814,639	152.10
11月	2,023,785	2,912,800	143.93		107,150		1,178,169	1,097,690	93.17	1,810,110	936,380	51.73	5,012,064	5,052,889	100.84
12月	2,137,341	2,740,000	128.20		121,830		1,258,693	996,550	79.17	1,836,880	731,850	39.84	5,232,913	4,597,342	87.72
1月	2,150,268	2,515,000	116.96		131,910		1,177,774	967,000	82.10	2,084,500	1,433,320	68.76	5,412,543	5,043,230	93.25
2月	2,056,285	2,657,773	129.25		167,300		1,064,454	929,350	87.31	1,082,040	749,290	69.25	4,202,779	4,503,713	107.16
3月	2,386,166	2,932,769	122.91		147,600		1,041,217	913,200	87.71	1,848,210	1,155,940	62.54	5,275,593	5,149,509	97.61
合計	12,853,711	16,757,542	130.37		782,840		7,001,076	6,702,980	95.74	14,406,820	13,981,260	97.04	34,261,606	38,224,622	111.57

※令和4年度の実績には、令和5年10月に旧生活路線からなとりん号に位置付けを変更した相互台線及び東部閑上循環線の数値を含む

■なとりん号 乗車人員実績

(単位:人)

	乗車人員 (障がい者等除く)			障がい者			運転免許返納者			合計		
	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)
10月	32,191	37,425	116.26	3,921	5,718	145.83		539		36,112	43,682	120.96
11月	31,205	37,497	120.16	3,784	4,159	109.91		964		34,989	42,620	121.81
12月	31,394	37,802	120.41	3,742	4,107	109.75		1,102		35,136	43,011	122.41
1月	30,185	35,514	117.65	3,124	3,855	123.40		1,011		33,309	40,380	121.23
2月	30,112	36,536	121.33	3,377	4,049	119.90		1,081		33,489	41,666	124.42
3月	31,120	36,003	115.69	3,507	4,075	116.20		1,026		34,627	41,104	118.71
合計	186,207	220,777	118.57	21,455	25,963	121.01		5,723		207,662	252,463	121.57

※令和4年度の実績には、令和5年10月に旧生活路線からなとりん号に位置付けを変更した相互台線及び東部閑上循環線の数値を含む

※障がい者は市民・市外問わず無料。運転免許返納者は1年間無料(令和5年10月より)

主な施策の実施状況

施策1 なとりん号の再編

②【AIデマンド交通「なとりんくる」の導入】

「なとりんくる」とは

従来のバスのように決まったルートが無く、利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の交通。自宅から病院やスーパーなどの指定乗降場所まで直接行くことができる。

運行エリア

- 名取市内全域(仙台市、岩沼市の一部を含む)の自宅(登録した場合のみ)、指定乗降場所または、特定指定乗降場所の区間

指定乗降場所: 市内約280箇所

特定指定乗降場所: 仙台南病院

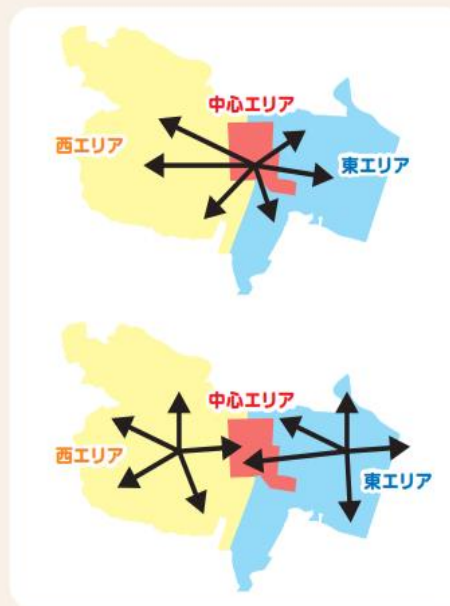
県立がんセンター

総合南東北病院

※特定指定乗降場所はどのエリアからでも直接移動が可能です

- JRの線路を境に東エリアと西エリアに区分するほか、名取駅周辺を中心エリアとした3つのエリアに区分しています。

- 東西の各エリア内における移動または東西の各エリアから中心エリアへの移動は可能ですが、中心エリア内だけでの移動と東西エリア間での直接の移動はできないルールとしています。



【運行車両】

- 車両 ミニバン
- 定員 6人(運転手除く)
- 台数 平日6台、土日・祝日4台体制
- その他 予備車1台は車イスで乗車可能な福祉車両

運行時間帯

午前 9 時～午後 4 時(年中無休) ※最終乗車午後3時30分まで

主な施策の実施状況

施策1 なとりん号の再編

②【AIデマンド交通「なとりんくる」の導入】

- **令和6年3月31日時点の登録者数は2,673名。**
- 登録方法は、紙による申請が1,053名、電話が251名、アプリが1,369名
- 登録者は名取市民が2,455人(92%)で、市外の方は218名(8%)
- 登録者2,673名のうち利用された方は939名(35.1%)、2回以上利用した人は647名でリピート率は59%
- **指定乗降場所の予約件数が多いのは、名取駅東口・西口、イオンモール名取。3病院も6ヶ月で200回以上利用されている。**

■登録状況（登録方法・障がい者・利用回数）

登録方法	全体	割合	障がい者	障がい者率	利用回数	割合
申請書	1053	39%	136	12.9%	3201	47%
電話	251	9%	20	8.0%	1221	18%
アプリ	1369	51%	18	1.3%	2453	36%
合計	2673	100%	174	6.5%	6875	100%

■登録状況（居住地・自宅等停留所設定）

居住地	お住まいの住所を利用	別の住所を指定	指定しない	合計	割合
名取市にお住まいの方	2081	46	328	2455	92%
市外にお住まいの方	0	40	178	218	8%
合計	2081	86	506	2673	100%

■指定乗降場所TOP10

（単位：人）

順位	乗降場所	乗車	降車	合計
1	イオンモール名取	423	430	853
2	名取駅東口	370	353	723
3	名取駅西口	156	233	389
4	★仙台南病院	144	196	340
5	高館	290	1	291
6	★県立がんセンター	59	194	253
7	★総合南東北病院	107	137	244
8	名取市役所前	70	149	219
9	名取中央クリニック	65	139	204
10	震災メモリアル公園	40	141	181

主な施策の実施状況

施策1 なとりん号の再編

②【AIデマンド交通「なとりんくる」の導入】

■月別収入実績 (単位:円)

	運送収入		
	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)
10月	168,389	394,450	234.25
11月	148,889	413,360	277.63
12月	288,390	417,550	144.79
1月	151,628	394,750	260.34
2月	167,657	424,600	253.26
3月	170,387	461,600	270.91
合計	1,095,340	2,506,310	228.82

- 令和5年10月1日から3月31日までの6ヶ月間で**8,131人が実際に利用**
- 2022年度と比べ、大幅に収入実績が増加している**

■収支率 (R5.10～R6.3)

	なとりんくる
運送収入 (千円)	2,617
想定事業費 (千円)	26,396
収支率 (%)	9.91

※収支率中、運送収入については、実際に回数券を購入した時点の収入で集計

※令和4年度の実績には、令和5年10月に旧生活路線からなとりん号に位置付けを変更した相互台線及び東部閑上循環線の数値を含まない

■月別利用者数

(単位:人)

	乗車人員 (障がい者等除く)			障がい者			運転免許返納者			合計		
	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)	令和4年度	令和5年度	前年対比 (%)
10月	1,258	839	66.69	195	332	170.26		114		1,453	1,285	88.44
11月	1,142	890	77.93	149	305	204.70		139		1,291	1,334	103.33
12月	1,250	896	71.68	175	309	176.57		148		1,425	1,353	94.95
1月	1,032	836	81.01	135	262	194.07		176		1,167	1,274	109.17
2月	1,095	905	82.65	153	286	186.93		205		1,248	1,396	111.86
3月	1,229	1,050	85.44	180	265	147.22		174		1,409	1,489	105.68
合計	7,006	5,416	77.31	987	1,759	178.22		956		7,993	8,131	101.73

※令和4年度の実績には、令和5年10月に旧生活路線からなとりん号に位置付けを変更した相互台線及び東部閑上循環線の数値を含まない。

※障がい者は市民・市外問わず半額。運転免許返納者は1年間半額(令和5年10月より)

施策3 MaaSの導入

③【バスロケーションシステム及び電子決済サービス等の導入】

将来的なMaaSの導入に向け、キャッシュレス決済等のMaaS施策の展開のために必要な取組を実施。

【バスロケシステム】

➤ 運行状況をリアルタイムで可視化

【ODデータ取得】

➤ 乗降者利用状況をデータとして活用

【電子決済サービス】

➤ 市民の利便性向上、データ活用、集計等の効率化

バスロケーションサービスで なとりん号がもっと身近に！

近くの
バス停を
検索する

現在地から半径500m以内の
バス停を検索します。

MOKUIK
(まぐい) サービス

- ・路線検索
- ・バス停検索
- ・位置情報
- ・周辺情報

ホーム画面への登録手順

iPhone

Android

「メニュー」を選択

「ホーム」画面に
追加」を選択

「路線のメニュー」
から駅名を選択

「ホーム画面」に
追加する

なとりん号
運行路線表示
サービス

なとりん号
運行路線表示
サービス

選択した路線の運行時刻は
画面の上部に表示します。

選択した路線の近隣路線と
乗換、バス停を表示します。

時刻表を
検索する

検索条件を入力

乗換条件を入力

いまから検索

06:03 - 09:28

06:03

ひとりん号

バスの
接近情報を
確認する

乗換駅検索

通過バス停
検索

乗換駅・
行先

定刻時間
車両タイプ
定期乗車券

位置情報・
待ち時間を
検索する

アプリ版

ブラウザ版
(Chromeで検索)

ブラウザ版
(Safariで検索)

[illegible]

※MaaSとは

MaaS(マース)とは、"Mobility as a Service"の略で地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

主な施策の実施状況

施策5 地域公共交通の維持・確保

④【免許返納者に対する割引制度の導入】

- 自動車運転免許証を返納した人へなとりん号・なとりんくるの運賃割引を実施。
- 「運転免許返納者割引証」を発行し、乗車時に提示することでなとりん号が無料、なとりんくるが半額(200円)
- いずれも「運転免許返納者割引証」の発行から1年間割引が適用。

免許返納者割引証	割引証のご利用にあたって
顔写真を貼り付け	- 本人のみが利用できる割引証です。 1日何回でも利用できます。 - 乗務員に本証を提示してください。 ○なとりん号：無料 ○なとりんくる：半額（200円） 名取市長
令和 7 年 9 月 1 日まで有効	名取市総務部防災安全課 022-724-7164

各種割引の設定

	現在	見直し後 バス路線	見直し後 デマンド
障がい者 (本人)	名取市民 無料 市外の方 【幹線路線】半額 【生活路線】100円	(市民・市外 問わず) 無料	(市民・市外 問わず) 半額
障がい者 (介護人)	第一種障害者の介護人 (1名まで) 【幹線路線】半額 【生活路線】100円	障がい者の介護人 (1名まで) 半額	障がい者の介護人 (1名まで) 半額
児童福祉施設等(※)通所者の付添人	【幹線路線】半額 【生活路線】100円	半額	半額
未就学児	無料 ※幼児(1歳以上小学校入学前)は小学生以上の同伴1人につき2人まで	無料	無料
小人 (小学生)	半額	半額	半額
免許返納者	—	1年間無料	1年間半額

主な施策の実施状況

施策8 モビリティマネジメントの実施

⑤【学校モビリティ・マネジメントの実施】

名取市内の大学、高専、高校で「なとりん号」、「なとりんくる」に関するワークショップを行い、学生・生徒や市民が抱える再編に伴う問題や公共交通の促進について議論を行い、解決策を模索した。

日時・場所

○第1回ワークショップ

尚絅学院大学 : 令和6年1月16日(火) 15:30~17:30
宮城県名取北高校: 令和6年2月5日(月) 15:30~17:30
仙台高等専門学校: 令和6年2月13日(火) 15:30~17:00
宮城県農業高校 : 令和6年2月19日(月) 11:00~12:00
各学校の教室等にて開催

○第2回ワークショップ

令和6年2月21日(水) 17:00~18:00
名取市増田公民館ホールにて開催

6.第2回 WS の会場の様子



【総括】

- ・ 学生より出された意見をもとに市やバス事業者を含めて全体で議論を行った。
- ・ 現状では解決できない課題もあったが、学生とのコラボの提案や今後の学生活動をより良くするための提案などを多く収集することができた。
- ・ 学生より課題を出してもらい、解決策を考えてもらうことにより、学生ならではの柔軟な発想での意見があった。

主な施策の実施状況

施策8 モビリティマネジメントの実施

⑥【名取市役所におけるエコ通勤優良事業所の認証】

令和5年8月にエコ通勤優良事業所認定を取得し、令和5年9月～令和6年1月の期間で毎月2回、自家用車以外の交通手段で通勤する「公共交通通勤チャレンジデー」を実施。
地域公共交通の維持・確保に対する意識の向上及び、市職員の健康増進を図るとともに、公共交通の利用に係る課題や問題点の洗い出しを行った。
参加者数は対象者491人中183人となった。(1回でも参加した人数)

公共交通通勤チャレンジデーの現状・課題、今後の方向性

《本市の現況》

公共交通通勤チャレンジデー参加状況調査結果から見えてきたもの

- 1回でも公共交通通勤チャレンジデーに参加した職員の割合
・ 37.3% (183人 / 491人)
- 公共交通通勤チャレンジデーの趣旨・目的の浸透率
・ 公共交通通勤チャレンジデー実施前後におけるアンケート調査において、「公共交通サービス維持・確保するため、より多くの人に利用してもらえるよう利用促進の取組を行い、みんなで公共交通を支えるという気運を醸成することが重要である」と回答した者の割合
・ 実施前：82.6% 実施後：76.8% (△5.8%)
- 職員が通勤手段に自家用車を選択する理由
・ 勤務場所まで直接通勤できる交通手段がない
・ 出勤前後に所要を済ませることができることや乗換を必要としないこと等、速達性や効率性を重視した結果
・ 自家用車出勤をしている職員の割合：78.6%
- 路線バス等の運行ルートについて
・ 通勤時間帯に合う便が無いことや、市内全域を対象に運行しているA1デマンド交通「なとりんくる」の運行時間は、朝9時～夕4時までのため出勤時間に利用できない。
・ バス停が近くに無いため参加できなかった市内居住職員：11名
・ (朝) 通勤に間に合う便が無いと回答した市内居住職員：24名
・ (夕) 通勤に合う便が無いと回答した市内居住職員：12名

《本市の課題》

- 課 題
- 公共交通通勤チャレンジデー参加者数
・ 公共交通の維持・確保に加え、「エコ通勤」による環境負荷の低減を主な目的として、自転車や徒歩による参加も認める取扱いとしたが、思うように参加者数が伸びなかった。
 - 公共交通通勤チャレンジデー実施日について
・ R5.9～R6.1の毎月第4金曜日及び、市役所周辺施設の混雑が予想される日を「公共交通通勤チャレンジデー」に設定したが、業務繁忙時期や悪天候に重なり、参加者しがたい状況にあった。
 - 公共交通利用にかかる運賃負担について
・ 公共交通通勤チャレンジデーに参加した際の運賃に対する自己負担
 - 公共交通通勤ができない職員の気まずさ
・ こどもの保育所送迎や心身上の都合により、自家用車でないと通勤できない職員より、「気まずさ」を感じるがあったとの声が寄せられた。
 - 公共交通の運行体系と勤務時間の不整合
・ 自宅近くにバス停が無い職員があり、自宅まで迎えに来るA1デマンドバス「なとりんくる」を利用しようとすると、出勤時間8:30に間に合わない、また帰宅時間17:15～には運行を終了している。

《今後の方針》

- 方針1 公共交通通勤チャレンジデーの趣旨・目的の更なる周知
- 公共交通の維持・確保に対する意識醸成としての「モビリティ・マネジメント」の更なる推進
 - 健康増進や環境負荷低減につながる取組であるため、公共交通のほか、自転車利用の推奨等、総合的な取組を展開
- 方針2 公共交通通勤チャレンジデーの在り方について
- 実施日を定めるのではなく、「月〇回や、週〇回」など、個人裁量で参加できるよう改善
 - 自家用車でないと出勤できない職員に対する理解の醸成
- 方針3 働きやすい職場環境の整備について
- 働き方改革の推進に合わせ、公共交通を利用して出勤しやすくなるよう時差出勤やフレックスタイム制の導入検討
 - 公共交通通勤チャレンジデー参加者に対するインセンティブ付与の検討

